

ネイチャー プログラム

ここでは、自然を感じ、自然を理解し、自然を知るためのゲームプログラムを総称して「ネイチャープログラム」と呼びます。自然環境を利用する宿泊体験において、「ネイチャープログラム」を導入することで、宿泊体験そのものの成果をあげることも期待できます。

(1) ネイチャープログラムのねらい

○自然に気づききっかけとして

自分たちがこれから生活するフィールドを、簡単なゲームなどを通して探検することで、自然がより身近に感じられるようになり、自然に対するマナーなど、その後の生活への意識付けにもつながります。

○環境を考えるきっかけとして

事前・事後学習と組み合わせ、ふれあいの村の自然と自身の地域の自然を比較することで、自然や自分たちの生活等をふりかえり、環境への意識を高めることができます。

○自然の深さ・大きさを知るきっかけとして

テレビなどで見る鮮明な動植物の映像も心に残りますが、自分がゲームを通して見つけた一瞬の動植物の姿は、やはり格別の想いが残ります。自然の深さ・大きさを知るきっかけにもなりますし、達成感等も得られます。



(2) 足柄ふれあいの村のネイチャープログラム

【時間】30分～4時間程度（個々のプログラムによって異なります）

【活動場所】村内各域

※団体の所在地での事前指導・事後指導が有効なプログラムもあります

【メニュー】

- ・ネイチャーハント
 - …ハンティングカードを持ち、自然の宝物を探しながら散歩します。
- ・森のビンゴ
 - …ビンゴのマス目には、自然の現象や動植物の特徴などを課題として書き入れます。それらを見つけ出してビンゴの完成を目指します。
- ・自然体験ゲーム
 - …自然に気づききっかけとなるゲームを8種類、紹介しています。組み合わせて利用します。



(3) ネイチャープログラムの進め方と留意点

事前

【下見】

- ・プログラムの検討段階で、場所の確認をおこないます

【実施の申込み】

- ・対象に合わせたプログラムを決定し、活動計画書に記入します。
- ・他団体とのプログラムの重複等を確認します

準備

【準備】

- ・地図やふりかえり用紙等のコピーをします（グループ数）
- ・雨天時の対応を決めておきます

【事前学習】

- ・必要に応じて、団体の所在地でゲームを実施します
- ・ゲームの記録は保管しておきます

打合せ

【シミュレーション】

- ・シナリオを書いておきます。頭の中で、参加者の動き、自分の言葉、動きをシミュレーションしておきます
- ・参加者から出そうな感想（ふりかえり）や質問も想定し、それに対する自分の言葉を考えておきます

実施

【実施】

- ・ルール（マナー）の確認をします
- ・プログラムの注意点の説明をします

ふりかえり

【ふりかえり】

- ・体験してどう感じたかを書き留め、発表しましょう
- ・発表することによって、主観的に「思った、感じた」ことを、他の参加者と共有し、意見交換し、深め合います
- ・事前学習の結果との比較をし、同じようにふりかえりをします

終了後

【事後学習】

- ・必要に応じて、団体の所在地でゲームを実施し、比較し、ふりかえりをおこないます
- ・時期を変えて実施すると、違った気づきも生まれます

留意点

- ・「雨」も自然現象のひとつ、前向きに捉えるように事前指導をし、小雨でも実施しましょう
- ・ふりかえりを充実させるためにも、スタッフ自身の体験が必要となりますので、リハーサルを兼ねて、スタッフ同士で実施しておきましょう